

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	住宅地計画小委員会		主 査 名：横山俊祐 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：松村秀一 主 査 名：高田光雄
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいまちづくりを包括的・相互的に捉え、空間・社会・文化・制度等の多面的視点で既存住宅地の持続的進化に向けて、実現可能な甦生手法を検討・提起 ・2010 年度：見学・事例研究会、報告書作成 ・2011 年度：見学・事例研究会、公開シンポジウム、刊行企画 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	横山俊祐 (大阪市立大学)・徳尾野徹 (大阪市立大学)・森永良丙 (千葉大学) 小浦久子 (大阪大学)・江川直樹 (関西大学)・菊地成朋 (九州大学) 寺川政司 (CASE)・郷田修身 (芝浦工業大学)・野澤康 (工学院大学) 田中友章 (明治大学・フォルムス)・阿部順子 (相山女学園大学)・伊丹康二 (大阪大学) 大月敏雄 (東京大学)・田上健一 (九州大学)・花里俊廣 (筑波大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	住宅地のリノベーションデザイン WG：既存住宅地の抱える様々な課題に関する具体的事例を地域特性別に収集、整理。事例研究会のための情報収集と資料作成。		
2010 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：有 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/keikakusub/s20/index. html	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の計画に沿って3回の事例見学会・研究会を行い、即地的に住宅地の課題・可能性を確認した。幅広い分野の研究者や専門家の参加による評価・議論を通じて、住宅地の甦生手法の検討と報告書の作成ができ、活動は活発であった。 2. 現地の住まい・まちづくりに関わる設計・企画者、研究者、居住者との間で、住宅地の甦生手法に関する実践的な情報が交換できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 旅費：委員は関東から九州まで広域であり、東京以外が過半を占めるため、1回の研究会で、予算の全額を使い切ることになる。旅費に応じて各小委員会の予算を傾斜配分することを検討していただきたい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。